



No.230

全日音研会報

音楽教育

令和7年7月発行

<http://www.jsme.net/>

令和7年度全日本音楽教育研究会 第29期（前期）本部役員の紹介

（○は新規就任）

会 長：福井 直昭（武蔵野音楽学園 理事長）

○ 副会長 小学校部会 部会長：笛 木 毅（世田谷区立九品仏小学校 校長）

同 事務局長： 同 （笛木 毅小学校部会長が兼務）

副会長 中学校部会 部会長：野口 大介（国分寺市立第五中学校 校長）

同 事務局長：清野 淳子（葛飾区立一之台中学校 校長）

○ 副会長 高等学校部会部会長：堀口 俊英（東京都立豊島高等学校 校長）

同 事務局長：井上 雅文（東京都立三田高等学校 主幹教諭）

副会長 大学部会 部会長：加藤 徹也（武蔵野音楽大学 教授）
（理事長）

同 事務局長：中村 岩城（玉川大学 教授）

本 部 事務局長：菊本 和仁（武蔵野音楽大学 講師）

○ 同 事務局次長：高山 俊哉（横浜市立田奈中学校 校長）

顧 問：小松 康裕（武蔵野音楽大学 講師）

「ご 挨拶」

全日本音楽教育研究会

本部事務局長 菊本 和仁



今年度は、全日音研第29期（前期）の本部役員改正の年です。新たに3名の本部役員が就任され、6月13日第1回常任理事会において承認されました。正式には10月22日全国大会佐賀大会前日に開催する本部全国理事会でご承認いただく予定です。

さて、現行の学習指導要領のもと、小・中学校および高等学校の音楽科教育が進められています。全日音研の全国大会は、令和2年度から輪番制となり開催してきました。今年度は、10月23・24日（木・金）九州地区の佐賀県において、小・中・高・大すべての校種が参加する総合大会として開催いたします。6月15日より申込みが始まっております。是非とも全国から多くの先生方にご参加いただければと思います。

昨年12月には、いよいよ次期学習指導要領改訂に向けた検討が始まりました。学校教育に求められる課題は時代とともに変容しますが、学校教育に於ける音楽科教育の意義の大きさは変わりません。全日音研は、我が国音楽教育の向上のために、持続可能な全国大会開催に向け全国各支部の皆様との連携を深めて、研究活動を繋いで参ります。今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

「ごあいさつ」

全日本音楽教育研究会
本部事務局次長 高山 俊哉



このたび、全日本音楽教育研究会本部事務局次長となりました横浜市立田奈中学校校長 高山 俊哉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。1986年より横浜市立中学校の音楽教員として、その後、横浜市教育委員会で音楽科の指導主事として音楽教育に携わってまいりました。校長になりました後、神奈川県支部長、全日音研中学校部会の調査研究部長としてお世話になってまいりました。この間、全国の音楽教育に関する調査研究にお力添えをいただきました皆さまに心より感謝申し上げます。このたび、ご縁がありまして全日音研本部の事務局次長に就任する運びとなりました。歴史ある全日音研の本部事務局次長という大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。近年の社会情勢の中で、日本の音楽教育をとりまく環境は年々厳しさを増しております。一方で、こうした先の見えない不安定な時代であるからこそ「豊かな情操を培う」音楽教育の重要性も深く認識されているところです。もとより微力ではありますが、菊本事務局長のご指導をいただきながら、本会の目的であります「我が国の音楽教育の向上発展に寄与する」という使命を深く心に刻み、精一杯努める所存です。今後とも、ご支援・ご指導を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。なお、本年度は本部事務局次長と中学校部会調査研究部長を兼務させていただきます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

「ご挨拶」

小学校部会 部会長 笛木 毅
(世田谷区立九品仏小学校 校長)



今年度より、全日本音楽教育研究会小学校部会の部会長を務めることになりました世田谷区立九品仏小学校校長の笛木 毅です。全国の先生方とつながりながら、子どもたちにとっての音楽の学びをより楽しく、深いものにしていけるよう、一步一步取り組んでいける小学校部会でありたいと考えています。

子どもたちが音と出会い、感じ、表現し、友だちと響き合う、その中にあるたくさんの気づきや喜びを、私たち教師は日々の授業で大切にしています。音楽には人と人を結び、心を動かす力があります。その魅力をもっと広げていきたいです。

本部会は、実践に根ざした研究や先生方同士の交流を大切にしています。皆さんの取組を知ることが励みになり、「またがんばろう」と思える。そんなあたたかい研究会をこれからも一緒につくっていったら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

「新たな一步を見出す年に」

中学校部会 部会長 野口 大介
(国分寺市立第五中学校 校長)



令和7年度中学校部会長を務めさせていただきます。全国の中学校音楽科の皆さま、関係の皆さまのお役に立てる情報発信や連携を担う機関として、工夫と改善に努めてまいります。今年度も全国会員の皆さまのご理解とご支援をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

6月27日には中学校部会全国理事会が参集/オンラインのハイブリッド方式で開催され、全国の支部長の皆さま、関係の皆さまのご協力のもと、大変スムーズな進行で理事会を終えることができました。理事会後の研修会では「『音楽的な見方・考え方』を働かせた音楽科の学習の充実に向けて」の演題で河合紳和教科調査官にご講演いただき、貴重な示唆をいただくことができました。(講演内容は中学校部会の会報に掲載いたします。)

さて、昨年12月、いよいよ学習指導要領改訂に向けた検討が中央教育審議会に諮問されました。強調された内容のひとつに、「柔軟な教育課程」のあり方がありました。デジタル分野の活用も併せ、先行実践研究での成果も紹介されています。多様な子どもたちが主体的に、深く学べることを目指す視点は一層重要です。音楽科としての視座をもちながら、教育全体の未来をそれぞれの立場から描き、「今」と「これから」を、まさに「柔軟に」考え、研究に生かしていく時期が訪れています。全国各支部の研究の多様なアプローチが重なり、作用しあうことで更なるアイデア、視点、工夫が生み出されます。ぜひ優れた実践・研究を全国組織として共有し、軸を一にして音楽教育の発展を共に目指しましょう。

「豊かな高校音楽教育の実現に向けて」

高等学校部会 部会長 堀口 俊英
(東京都立豊島高等学校 校長)



このたび、高等学校部会長の拝命いたしました堀口俊英と申します。全国の先生方と共に高校音楽教育の未来を築けることを大変光栄に思います。

現在、社会はデジタル化やグローバル化といった変化に加え、個別最適な学びや協働学習を重視する教育改革が進行しています。令和6年12月、中央教育審議会は「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方」について答申を行い、多様な専門性を有する質の高い教職員集団形成に向けた環境整備も加速する方針を示しています。音楽教育においても、学習指導要領改訂で提唱されている「主体的・対話的で深い学び」を踏まえ、教育課程審議会では「多様な価値観を尊重し協働できる力」の育成が強調されています。まさに、生徒たちが音楽を通して自己表現や他者理解を深め、チームとして創造を進める力を育むことが、高校教育の新たな指針として求められているところです。

このような時代要請の中、全国の先生方が現場で培っている創意ある授業の実践こそが、日本の高校音楽教育を豊かにし、未来へとつなぐ力となります。生徒一人ひとりが音楽を通じて主体的に学び、他者と響き合い、自分らしく生きる力を育むその瞬間を支えるために、尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「校種を超えた繋がりとの広がりや深まりを目指して」

大学部会 部会長 加藤 徹也
(武蔵野音楽大学 教授)



大学部会部会長に就任して3年目を迎え、本年度より理事長も務めさせていただくことになりました。気持ちを新たに本研究会の発展に微力を尽くす所存です。かつては高等学校部会に所属し、勤務校で常任理事会などが催される折には、補助的な用務を務めていたことを思い出します。これまで多くの全国大会に参加させていただき、各地の取り組みやその成果から貴重な学びを得たり、児童・生徒の皆さんの心のこもった記念演奏に目を潤ませたりしてきました。全日音研の活動の意義や、地域・校種を超えた繋がり大切さについては十分に認識しており、今後の活動に際しても常に留意していきたいと思っております。

従前より、幼・小・中・高および大学の先生方による協働研究が活発に行われていますが、大学部会においても、令和5年度の大会では「校種間の連携と系統的な学び」をテーマとするシンポジウム、令和6年度には「日本の伝統音楽の指導とスキルの修得と向上」をテーマとし、大学の公開授業、中学校の授業実践報告及び講演を実施しました。令和7年度の佐賀大会では、1日目の研究発表のみとなりますが、ご興味にある方はぜひご参加ください。続くワークショップや全体会では、多くの先生方が交流を深めていただくことを願っております。

令和7年度 全日本音楽教育研究会全国大会 佐賀大会 (総合大会)

第66回九州音楽教育研究大会 佐賀県大会
第26回佐賀県音楽教育研究大会 佐賀・小城・多久地区大会
第2次案内ならびに大会参加申込が始まりました。

日 程：令和7年10月23日(木)・24日(金)

全体会場：佐賀市文化会館

大会会長：副島和久先生(佐賀市立金立小学校)

大会主題：「育てよう 音楽と豊かに関わる子ども」

～音楽科及び芸術科音楽における「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善と

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して～

全日音研 第2期(令和6年度～令和10年度)の継続研究の3視点項目

① 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善

- ② 生活や社会の中の音や音楽の働きについての意識や、音楽文化についての理解を深める学習の充実
③ 授業改善のための指導と評価の一体化

参加校種：小学校（6本）・中学校（4本）・高等学校（2本）・大学（研究発表）

指導講評：文部科学省 視学官：志民一成様 調査官：河合紳和様

記念演奏：ヴァイオリニスト 古澤 巖氏

<大会参加申込> ※全国より多くの皆様のご参加をお待ちしております。

申込期間：令和7年6月15日（日）～8月15日（金） 参加費：6,000円

申込先：日本旅行佐賀支店（Tel：0952-38-5450 担当：飯田・丸田）

申込方法：佐賀県音楽教育研究会 HP の第二次案内の2次元コードから申込み下さい。

<https://saga-ken-on-ken.jimdosite.com>

お問い合わせ：佐賀大会事務局

事務局長：末次知子先生（佐賀市立城北中学校 校長）

住所：〒849-0921 佐賀市高木瀬西3丁目1-50

TEL：0952-30-9258 ・ FAX：0952-30-2360

※現在、全日音研 HP と音鑑ウェブネットに今年度の全国大会佐賀大会の第二次案内と各地区音研大会の第一次案内を掲載しています。大会参加申込等につきましては、各地区音研大会事務局にお問い合わせして下さい。

「全日音研全国大会開催規定」について

全日音研では、安定的に全国大会を開催するために、平成29年10月に「全日音研全国大会開催地決定に関する規定」を制定し、現在に至っています。この規定にある輪番による全国大会開催が定着し第2期目（令和9年度～令和16年度）を迎えようとしています。学校を取り巻く環境の変化や増大する大会開催に関わる負担の軽減を図るとともに、持続可能でより効率的な大会開催を期して「全日音研全国大会開催規定」として改正するために、2年間にわたり部会長・事務局長会や常任理事会等で検討してきました。更に昨年度1月28日には、各支部長宛に「全国大会開催に関する規定の策定及び現規定見直しに関するアンケート調査」を実施し、約9割の各支部長から回答を得ることができました。このような会議やアンケート結果などから「全日音研全国大会開催規定」を作成し、6月13日に開催しました令和7年度第1回常任理事会において承認を受けました。今後、10月の全国大会佐賀大会の前日に開催する「本部全国理事会」に議事として審議していただく予定です。

全日音研に関する今年度の会議等日程

（※関係者の方には、メールにてご連絡いたします。）

○本部役員会（前部会長・事務局長会） 第1回：5月9日（金）17:00

第2回：10月3日（金）17:00

第3回：12月11日（木）17:00

○常任理事会 第1回：6月13日（金）17:00

第2回：3月3日（火）17:00

○全国理事会 中学校部会：6月27日（金）13:30 府中市市民活動センタープラッツ
小学校部会：10月22日（水）13:00 佐賀市文化会館1F イベントホール
高等学校部会：10月22日（水）13:00 佐賀市文化会館3F 大会議室
全日音研本部：10月22日（水）15:00 佐賀市文化会館1F イベントホール
大学部会（総）：10月23日（木）12:00 佐賀市文化会館3F 大会議室

○令和8年新年祝賀の会：1月15日（木）17:00 武蔵野音楽大学キャンパスレストラン「インテルメッツォ」